

## 衝撃！青森には原発関連施設と共に世界でも有数の米軍基地、自衛隊基地がある — 地域民主教育全国交流研究会・青森集会報告 —

11月22日から24日まで青森で開催された研究会に参加してきました。「青森」と聞くと、ねぶた・冬景色・りんごを真っ先に思い浮かべ、かろうじて原子力船むつや三沢基地といった程度の認識しかなかったのですが、23日のシンポジウムで東奥日報の斎藤光政記者の報告に衝撃を受けました。(他の参加者も同じ感想を述べていました。)

1. 制空権確保のためのF16戦闘機40機の部隊がある(世界に4つしかない。米本土に2, 独に1)。イラク戦争に最初に飛行して爆撃したのもこの部隊。
2. 三沢基地には航空自衛隊のF2戦闘機(F16を日本で改造したもの)が40機配備され、F16クラスの戦闘機が日米あわせて80機もある基地は世界的にもまれ。
3. 青森の軍事・諜報施設は北朝鮮に向いている→なぜテポドンが日本海東北方面に発射されたのかに関連。
4. 基地や原発関連施設があるのは非常に貧しい地域。戊辰戦争で敗れた会津藩士が転封された斗南藩地域も含まれている。(ここまで遡るのか！)

\* 斎藤光政『米軍「秘密」基地ミサワ 核と情報戦の真実』(2002、同時代社)等参照



右端が斎藤光政氏

### < 教師・学校分科会 >

この研究会には「子ども」「学習」「地域」「教師・学校」という4つの分科会があります。一応4つに分かれています。この4つを「串刺し」にしてとらえるというのが研究会発足以来の理念です。私はこの10年ほどは「教師・学校分科会」に参加し、恵那集会では弥富高校時代の学校づくりフォーラムの取り組みを瀬見井先生達としたことがあります。随分前には高知集会で井上先生に高校生フェスの報告をしていただいたこともあります。

今年の分科会で最も印象的だったのは、青森県立三沢高校の「生徒・保護者と共に学校をつくるモスサミットのとりくみ」というレポートです。同校のスクールカラーであるモスグリーンが名称

の由来になっているが、2012年の携帯音楽プレーヤーの使用禁止提案が職員会議で出されたのを機に同年8月末に第0回が、以降年に2回(2月と9月)開催されています。正規メンバーは生徒会、PTAの役員と教員代表だが、発言権を持つオブザーバーも参加しています。私にとって驚きだったのは、毎回新聞社や地元ケーブルテレビが取材に来ている点でした。「開かれた学校づくり」を標榜しているとはいえ、テレビ中継までされるのは腹が据わっていないとできないことだと思います。2年生の生徒の発言がおもしろいので紹介します。

「仕事場のルールとしてiPodとかを、曲を聞きながら仕事をしてはダメと言うルールはないですよ。でもそれは常識としてそうやって守っている訳で、学校でもそれはルールとして決めるんじゃないかと、もう高校生になったのだからそれは常識として持っていくべきじゃないのか。…成長の面でルールを作ることが全てじゃなくて、ルールはないけど自分で考えて場をわきまえてやるということも学習の一つだと思う。」

1983年の秋、アイスナー教授(スタンフォード大学教授)が関わるアメリカの小学校を見学した時、同校の校長は「私達は画一を伴わない調和(Harmony without Uniformity)」をめざすと力説され、保護者向けの学校案内には「この学校には規則(written rules)がありますが、私達の努力によって減らしていきます。」と書いてありました。つまり、成文法の世界でなく慣習法の世界を目指している、と私は解釈しましたが、三沢高校の生徒の発言に同様の発想をみました。黎明の現状を思い浮かべながら、いつの日にかこんな学校に向かっていけたら、と思いました。

#### <2日目夜の「地酒持ち寄り交流会」>

この研究会は地域にねざした教育を追求するだけあって、夜の交流会には全国からの参加者が各地の地酒をもってきます。青森の「田酒」、山口の「獺祭古酒」などの銘酒がある中で互角に戦える酒を選ぶのは毎年苦労します。今年は勉強熱心な日本酒ソムリエお薦めの「ほしいずみ」(知多・丸一酒造)を持っていきました。彼曰く「2~3年後にはブレイクする(かもしれない)」。好評で4合瓶2本はまたたく間に空になりました。



#### <来年は滋賀県で開催>

来年の開催地は滋賀県の近江兄弟舎を会場に開催されます。2015年11月21(土)から23日(月・祝日)の3連休です。オータムフェスと重なる時期ですが、黎明の取り組みレポート持参で参加できると良いですね。近場でもありますし。(ちなみに、今年は青森、去年は福島、一昨年は福岡)